

## 地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年6月30日 (3回目)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	加古川市 ( 28210 )
地域名 (地域内農業集落名)	志方町横大路地区 ( 横大路 )

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	44.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	33.8 ha
② 田の面積	43.4 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	1.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	— ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	— ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

## (2) 地域農業の現状及び課題

## 【現状】

志方西宮農組合や個人農家が地域農業の担い手として、横大路地区の農地の約30%を管理している。

## 【課題】

兼業農家が多く、高齢化が進み後継者不足が問題となる中、担い手が利用する農地以外の農地をどのように管理していくかが課題となっている。また、特に志方西宮農組合の高齢化が深刻となっており、遊休農地の更なる増加が懸念されることから、営農組合の後継者及び新規就農者を確保・育成することが喫緊の課題である。

## 【主要作物】

担い手: 水稻、キャベツ、いちじく等

個人農家: 水稻

## (3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

担い手となる営農組合や認定新規就農者等の農地利用について現状維持に努める。

農地管理が容易な水稻の生産を続ける他、キャベツ、いちじくの生産を継続する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手となる営農組合や認定新規就農者等への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	1	%	将来の目標とする集積率
			1 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する農地面積の現状維持を目標とする。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
地域の農地利用はできる限り集積・集約化する。 農地については、引き続き担い手や集落営農組織、個人農家が適切に維持していく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理機構を活用して農地の集積・集約を図り維持、保全に努める。
(3)基盤整備事業への取組
農地の基盤整備済み(昭和55年度)。すでに基盤整備を実施しているが、農作業の効率化を図るため、畦畔撤去などの基盤整備の可能性を検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
営農組合の後継者を確保するとともに、新規就農を希望する者がいれば、地域で耕作する農業者に支障がない範囲で、農地等の紹介を行うことで就農までの支援を行う。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
近隣地区で農業支援サービス事業等を実施している事業者はいないが、地域の農地を担う営農組合の高齢化が課題となっているため、依頼可能な支援サービス事業者が出てきた場合、活用を検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

・鳥獣被害防止対策として侵入防護柵を設置。

